

市場単価・土木工事標準単価の週休 2 日補正に係る計算順序及び端数処理

1 市場単価（一般土木・下水道）

週休 2 日の補正無し	
(1) 加算率・補正係数 割増がない場合	標準の市場単価
(2) 加算率・補正係数 割増がある場合	<p>S:加算率、K:補正係数 標準の市場単価 $\times (1 + S_0 \text{or} S_1 \text{or} \dots \text{or} S_n / 100) \times (K_1 \times K_2 \times \dots \times K_n) = \text{補正後単価}$</p> <p>【計算順序①】 加算率・補正係数の算出 $(1 + (S_0 \text{or} S_1 \text{or} \dots \text{or} S_n) / 100) \times (K_1 \times K_2 \times \dots \times K_n)$を行う。 ※全て連続計算(端数処理なし)で行い、 最後に小数第 4 位四捨五入を行う。</p> <p>【計算順序②】 標準の市場単価 \times ①で算出した値 = 補正後単価 (小数第 3 位四捨五入)</p>
(3) 加算額	<p>・補正無し ※加算額は、(1)又は(2)で算出した補正後単価に加算する(端数処理なし)。</p>
週休 2 日の補正あり	
(1) 加算率・補正係数 割増がない場合	標準の市場単価 \times 週休 2 日の補正係数 = 補正後単価 ※小数第 3 位切捨て
(2) 加算率・補正係数 割増がある場合	<p>S:加算率、K:補正係数 (標準の市場単価 \times 週休 2 日の補正係数) $\times (1 + S_0 \text{or} S_1 \text{or} \dots \text{or} S_n / 100) \times (K_1 \times K_2 \times \dots \times K_n)$ = 補正後単価</p> <p>【計算順序①】 (標準の市場単価 \times 週休 2 日の補正係数) = 補正後単価 (小数第 3 位切捨て)</p> <p>【計算順序②】 加算率・補正係数の算出 $(1 + (S_0 \text{or} S_1 \text{or} \dots \text{or} S_n) / 100) \times (K_1 \times K_2 \times \dots \times K_n)$を行う。 ※全て連続計算(端数処理なし)で行い、 最後に小数第 4 位四捨五入を行う。</p> <p>【計算順序③】 ①で算出した値 \times ②で算出した値 = 補正後単価 (小数第 3 位四捨五入)</p>
(3) 加算額	<p>・労務費が含まれる場合 標準の市場単価(加算額) \times 週休 2 日の補正係数 = 補正後単価 (小数第 3 位切捨て)</p> <p>・労務費が含まれない場合 労務費が含まれない加算額は補正対象外 ※加算額は、(1)又は(2)で算出した補正後単価に加算する(端数処理なし)。</p>

市場単価・土木工事標準単価の週休2日補正に係る計算順序及び端数処理

2 土木工事標準単価

週休2日の補正無し	
(1) 補正係数割増がない場合	土木工事標準単価
(2) 補正係数割増がある場合	<p>K:補正係数 土木工事標準単価 × (K1 × K2 × … × Kn) = 補正係数補正後の土木工事標準単価</p> <p>【計算順序①】 加算率・補正係数の算出 (K1 × K2 × … × Kn)を行う。 ※全て連続計算(端数処理なし)で行い、 最後に小数第4位四捨五入を行う。</p> <p>【計算順序②】 土木工事標準単価 × ①で算出した値 = 補正後単価 (小数第3位四捨五入)</p>
週休2日の補正あり	
(1) 補正係数割増がない場合	土木工事標準単価 × 週休2日の補正係数 = 補正後単価 ※小数第3位切捨て
(2) 補正係数割増がある場合	<p>K:補正係数 (土木工事標準単価 × 週休2日の補正係数) × (K1 × K2 × … × Kn) = 補正後単価</p> <p>【計算順序①】 (土木工事標準単価 × 週休2日の補正係数) = 補正後単価 (小数第3位切捨て)</p> <p>【計算順序②】 補正係数の算出 (K1 × K2 × … × Kn)を行う。 ※全て連続計算(端数処理なし)で行い、 最後に小数第4位四捨五入を行う。</p> <p>【計算順序③】 ①で算出した値 × ②で算出した値 = 補正後単価 (小数第3位四捨五入)</p>